

2007年3月期 第1四半期 補足資料

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 連結売上高について | p. 1 |
| 2. 主要製品の売上高について | p. 2 |
| 3. 開発品目の進捗について | p. 3～5 |
| 4. 主な子会社の業績と見込みについて | p. 6 |

2006年7月28日

株式会社キョーリン

< 連結売上高について >

(単位：百万円)

	通期		中間期		第1四半期(4月～6月)			
	(ご参考) 05年度 実績	06年度 見込み	(ご参考) 05年度 実績	06年度 見込み	(ご参考) 05年度 実績	06年度 実績	(ご参考) 前年差額	通期見込み に対する 進捗率
売上高	74,054	75,600	33,511	35,500	17,312	18,685	+1,373	24.7%
新医薬品	64,281	61,400	30,111	28,700	16,191	15,577	▲614	25.4%
国内新医薬品	55,705	56,400	25,905	26,400	13,902	14,285	+383	25.3%
海外新医薬品	8,575	4,900	4,205	2,300	2,288	1,291	▲997	26.3%
後発医薬品	3,488	6,000	967	2,800	88	1,272	+1,184	21.2%
ヘルスケア	5,035	6,800	1,844	3,300	733	1,595	+862	23.5%
その他	1,248	1,400	588	700	299	239	▲60	17.1%
営業利益	8,989	5,700	2,406	1,500	2,929	1,686	▲1,243	29.6%
経常利益	9,465	6,400	2,753	1,800	3,052	1,690	▲1,362	26.4%
当期純利益	5,228	3,500	1,459	700	1,942	782	▲1,160	22.3%

* 05年度実績は杏林製薬株式会社(連結)の数値、
06年度実績及び見込みは株式会社キョーリン(連結)の数値を示しております

< 主要製品の売上高について >

(単位：億円)

製品名	通期		中間期		第1四半期(4月～6月)			
	05年度 実績	06年度 見込み	05年度 実績	06年度 見込み	05年度 実績	06年度 実績	前年比 (%)	
国内 新薬 品	キプレス (LT受容体拮抗剤・気管支喘息治療剤)	134	142	61	66	32	36	10.6
	ガチフロ(自社販売) (広範囲合成抗菌薬)	25	30	11	12	6	6	9.8
	ムコダイン (気道粘液調整・正常化剤)	199	209	85	90	48	51	5.9
	バクシダ-ル (広範囲経口抗菌剤)	6	5	3	2	2	1	2.0
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	63	62	32	32	16	15	5.1
	アブレス (胃炎・胃潰瘍治療剤)	24	20	12	11	6	5	15.4
	ロカルトロール (活性型ビタミンD3製剤)	22	19	11	10	6	5	13.0
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	73	79	36	39	18	20	12.1
海外 新薬 品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	67	25	35	11	21	10	49.6
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	3	3	2	3	1	1	44.9
ヘル ス ケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	21	22	11	12	5	5	7.8

ガチフロキサシン・ノルフロキサシンは、それぞれライセンサー向けのバルク売上とともに、ライセンサーの販売に応じたランニングロイヤルティを含んだ売上を計上いたしております。

< 開発品目の進捗について >

申請中

開発段階		製品名・ 開発コード	薬 効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
申請 (04年10月)	Ph I	ウリトス KRP-197 (錠)	過活動膀胱 治療薬	自社	抗コリン作用が強く、口渇 等の副作用軽減が期待さ れる	海外: LGLS社とライセンス 契約 国内: 小野薬品工業と共同開発・ 共同販売(予定)
申請 (04年7月)	(メルク社 発売中)	キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新 規製剤	○ 剤形追加 ○ 新用量 ・万有製薬と共同開発
申請 (05年8月)	(メルク社 発売中)	キプレス錠 モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人: アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の 遮断による鼻炎症状(鼻 閉、鼻漏、くしゃみ)の改 善と共に、眠気などの副 作用軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発

POCプロジェクト及びPh II～III

開発段階		製品名・ 開発コード	薬 効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph III (04年1月)	(ガデルマ社 発売中)	ペキロン ネイルラッカー	爪白癬 治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	マルホと共同開発
Ph II/III (05年10月)	(メルク社 Ph III)	モンテルカスト (注射剤)	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人:気管支喘息 剤形追加(注射剤)	万有製薬と共同開発
	Ph II (04年10月)	KRP-204 (N-5984) (錠)	抗肥満剤	日清 製粉	選択性の高いβ3受容体作動 薬。従来のβ3作動薬に比べて 心への影響が少なく、肥満を 改善することが期待される	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
Ph II (05年3月)	(大日本住友 Ph III)	AS-3201 (錠)	糖尿病 合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に 阻害することにより細胞内の ソルビトール蓄積を抑制し、 糖尿病性神経障害を改善する	大日本住友製薬と共同 開発(国内のみ)
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	脂質代謝 改善/糖尿病 治療剤	自社	PPARαのagonist。中性脂肪 等脂質代謝改善作用に加えて、 糖尿病に対する有効性が期待 される	新たなPh II aを準備中
	Ph I (06年3月)	KRP-104	糖尿病	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌 ホルモンの分解を抑えること により血糖低下作用を示す。副作 用の発現が少ない糖尿病治療 が期待される	
	Ph I 準備中	KRP-203	臓器移植、 自己免疫 疾患	自社	S1P受容体アゴニスト。新規 メカニズムを有する免疫抑制剤。 既存の免疫抑制剤に比べて 安全性が高く、かつ優れた併用 効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約
	前臨床	KRP-105	脂質代謝 改善	自社	選択性の高いPPARα agonist。 KRP-101よりもさらにPPAR α受容体に対して選択性が高 い。脂質改善作用に加え、 アディポネクチンの増加、 レプチンの減少、体重増加抑制 作用などが動物実験で確認さ れており、新たな脂質改善剤と して期待される	

導出品の状況

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	—	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	・共同研究 ・独占的ライセンスに関する契約締結 (04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内Ph II (06年4月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液の クロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外Ph II (05年8月)	脳血管障害 治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界における独占的 な開発、製造販売権を供与(04年10月)
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外Ph II (気管支喘息: 05年1月) (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息 治療薬 間質性膀胱炎 治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外Ph I 準備中	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	・移植用の免疫抑制剤として、全世界の 開発及び販売権、自己免疫疾患及び その他の疾患用剤として、日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界の開発及び 販売権(なお、炎症性腸疾患用剤とし ては、全世界の権利を留保している)を 供与(06年2月)

< 主な子会社の業績と見込みについて >

(単位：億円)

杏林製薬	05年度 実績	06年度 見込み	06年度 第1四半期実績
売上高	674	645	164
営業利益	88	54	16
当期純利益	48	31	10

東洋ファルマー	05年度 実績 (8ヶ月分)	06年度 見込み	06年度 第1四半期実績
売上高	44	72	16
営業利益	3	2	1
当期純利益	2	1	0

ドクタープログラム	05年度 実績 (7ヶ月分)	06年度 見込み	06年度 第1四半期実績
売上高	8	21	5
営業利益	0	1	0
当期純利益	0	0	0

* 東洋ファルマー、ドクタープログラムの決算期は1月期(2月～1月)、杏林製薬の決算期は3月期(4月～3月)となっております。